

條從五下、紀伊守、

源光右大臣、左大將、正二、

靜正五下左少將、

淨左少將、

與從五下

賢左少將、

源効從四上

〔文德實錄四〕仁壽二年十二月癸未、參議左大辨從三位小野朝臣篁薨。

〔源平盛衰記十五〕宇治合戰附賴政最後事

渡邊黨ニ省連至覺授與競唱列配早清進ナンドヲ始トシテ、各一文字聲々ニ名乗テ、三十餘騎馬ヨリ飛下々々橋桁渡テ戦ケリ、

〔太平記十七〕瓜生判官心替事附義鑑房藏義治事

義助義顯三千餘騎ニテ、敦賀ノ津ヲ立テ、袖山ヘ打越給フ、瓜生判官保舍弟兵庫助重彈正左衛門照、兄弟三人、種々ノ酒肴ヲ昇セテ、餚並入宿ヘ参向ス、

〔雲萍雜志二〕ある國の一宮の社司に、化名して羊の大夫といへるあり、妾腹の子を務<sup>ヅカサ</sup>といひ、後妻の子を轉<sup>ツル</sup>といへり、

醜名

〔日本書紀二十五〕大化五年三月甲戌坐蘇我山田大臣而被戮者○中高田醜此云雄○下  
〔續日本紀二十三〕天平寶字五年四月乙亥外從五位下稻蜂間連仲村賣親族稻蜂間首醜麻呂等八人賜姓稻蜂間連、

〔三代實錄十七〕貞觀十二年二月十二日甲午先是太宰府言對馬島下縣郡人卜部乙屎麻呂爲捕鷺